



あおばの子

平成31年3月1日
青葉小学校だより14号
児童数299名
発行者 松村由紀

校庭の花壇やプランターの土の中から、チューリップの芽が顔を覗かせています。2月は新年度入学生の一入入学（48名予定）や2日間の学校公開がありました。授業参観・学年委員会にも、お忙しい中たくさんの保護者の皆様、地域の皆様がおいでくださり子どもたちの学習の成果をご覧いただき、誠に有難うございました。子どもたちのがんばる姿と笑顔に、改めて成長を感じてくださった方も多かったのではないのでしょうか？

2月も子どもたちの学習が、より心に響きより充実した学習になるよう、各学年で工夫を凝らして授業を行いましたので、ご紹介します。



1年生 音楽

こまどり会の方々の美しい歌声を聴いたり、親子で一緒に童謡を歌ったりしました。



2年生 学級活動

保健師さんを講師に、命の誕生の話や聞き、赤ちゃん人形を抱く体験をしました。



3年生 社会

昔の道具を見学したり、調べたりしたことを、友だちと協力して発表しました。



4年生 総合的な学習の時間

二分の一成人式で一人一人10歳の決意を発表しました。



5年生 総合的な学習の時間

J Aの方を講師にふかし大豆と糶でみそ造りに挑戦しました。



6年生 音楽

琴の演奏者を招き美しい音色を鑑賞し演奏体験もしました。



つばさ・ひまわりお別れ遠足

電車によって、遊園地と動物園に行き楽しく過ごしました。



5・6年生 学級活動

eネットキャラバンケータイスマホ安心講座で学びました。



3年生 国語

紙芝居で「ちいちゃんのかげおくり」他を鑑賞しました。

校長室で「6年生ふれあい会食」



青葉小のリーダーとして活躍してきた6年生の卒業まであとわずかです。

校長室での6年生との会食では、小学校で頑張ったこと、中学校でやりたいこと、将来の夢、大切にしている宝物など、一人一人澄んだ眼差しで語ってくれました。在校生へ渡したい『バトン』について聞いてみると、青葉小の子どもたちが大切にしている、あいさつ、協力、思いやり、がんばり、自主性など、一人一人自分の考えを素直な気持ちでハッキリ話してくれました。自分たちで伝統を作っていることに感心させられました。『子どもの姿で伝統を作る』青葉小学校そのものです。6年生一人一人の成長がいとおいしく感じられる毎日です。3月15日（金）晴れの卒業式まで、卒業生にも在校生にも、互いの思いを込め、感謝の気持ちを感じ取りながら、過ごさせていきたいと思ひます。



5年生がリーダーとなって、心を込めた青葉小のよき伝統「6年生を送る会」

5年生を中心とした児童会の企画運営で、全校児童で6年生に感謝を伝え、お祝いをするものにしたと工夫を凝らしました。5年生が6年生にインタビューしたことを元に、一人一人の紹介をしながら6年生が入場。『6年生クイズ』や『みんなであそぼう』の時間、各学年の出し物の後、在校生みんなで作った「万年カレンダー」を6年生にプレゼント。6年生は下級生一人ひとりに好みに合わせた素晴らしい「しおり」を作って、互いにプレゼントし合いました。学年ごとの出し物もすばらしいものでした。

クラスや学年を超えて、まるで兄弟のように仲がよい青葉小の子どもたちの笑顔と笑い声があふれる温かい集会になりました。仲のよさと感謝の心を伝えるよい伝統の活動となっています。



6年生クイズ〇か×か



下級生へのプレゼント



地域の方々からの電話「青葉小の子 ありがとう！」

～ 地域の方々のためにも、進んで思いやりのある行動ができる、青葉小の子どもたちのすばらしさが伝わってきました～



○ 有楽町交番から

「4年生の男の子と女の子3人が、人を助けてくれました！学校の帰り道、前の方を歩いていたおじいさんが、地面に倒れてしまうのを見て、一人が近くのコンビニの大人に知らせに走って行き、来てくれた店員さんが救急車を呼びました。後の二人は、おじいさんに付き添って、助けが来るまで励ましながら一緒にいてくれました。その後おじいさんは助かりました。ありがとうございました。」

○ 地域の方から

「買い物に出た帰り道、自転車に乗ったまま、バランスを崩して道路に倒れてしまいました。困っていると、近所の家から5年生ぐらいの男の子が走り出てきて、自転車を支えながら、起き上がった荷物を持ち上げてくれるのを助けてくれました。立派な小学生ですね。道徳で心の勉強をしているからでしょうか？とても嬉しかったです。」

